

三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権に於ける絶対評価審判方式(AJS3.0J)の採用について

JDSF 新審判基準委員会 委員長 佐倉 文彦

はじめに

世界ダンススポーツ連盟 (WDSF) では、ダンススポーツのオリンピック参加を目指して審判システムの改革を行っています。これは JDSF が 2007 年に開発して世界に提案し、2010 年のアジア大会でも使用された方式をベースに微修正が行われてきたものです。

絶対評価審判方式のコンセプトは、

- ① IOC の承認を得ている ISU の審判方式を基盤とする
- ② 段階を経て実行できる可能性・実現性のあること
- ③ 客観的な評価に向けた改善
- ④ 透明度の改善
- ⑤ IOC, メディア、観客が審判への理解を深められること
- ⑥ 選手やトレーナーに建設的なフィードバックの提供が可能なこと

現在、WDSF では審判システム A JS3.0 となっていますが、

JDSF では AJS3.0 とともに、日本提案による一般減点を含めた AJS3.0J により審判が行われます。



2022 年度の三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権 準決勝および決勝の競技順と曲の長さ

準決勝 (2 ヒートですべてグループ競技、曲の長さは 1 分 45 秒(パソ・ドブレは第 3 ハイライト))

スタンダード=ワルツ、タンゴ、ヴィエニーズ・ワルツ、スロー・フォックストロット、クイックステップ
ラ テ ン=サンバ、チャチャチャ、ルンバ、パソ・ドブレ、ジャイブ

決 勝 (ソロ競技は 1 分 15 秒(パソ・ドブレは第 2 ハイライト)、グループ競技は 1 ヒートで 1 分 45 秒)

スタンダード=ヴィエニーズ・ワルツ/ソロ競技、ワルツ/グループ競技、タンゴ/グループ競技、
スロー・フォックストロット/ソロ競技、クイックステップ/グループ競技
ラ テ ン=チャチャチャ/ソロ競技、サンバ/グループ競技、ルンバ/グループ競技、
パソ・ドブレ/ソロ競技、ジャイブ/グループ競技

※曲の長さは、状況により統括責任者が変更する場合があります。

審判団の役割

統 括 責 任 者 : 審判団を統括し、進行管理など全体管理を行います。

レ フ ェ リ ー : 競技会のレベルの判定や、ビデオによる一般減点評価の判定を行います。また競技会後に各審判員のレビューを行い、結果の確認を行います。

審 判 員 : 8 名または 10 名。各審判員は、4 つの評価基準(PCS)のうち指定された 2 つの評価基準(PCS)を規定に基づき採点します。

ゲーム・マネージャー : 新審判方式の採点に関する責任者。

採点の概要

三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権の準決勝と決勝 (ソロ・グループ競技) ともすべて同じ採点および集計方法を用います。審判員 8 名または 10 名、4 つの評価基準(PCS: プログラム・コンポーネンツ・スコア) を 10 点満点 (0.25 刻み) で、2 つの評価基準(PCS)に対して審判員の半数が採点します。同じ評価基準(PCS)担当者の採点の「中央値」から 1.5 超離れた点数を除外し平均した点数をその評価基準(PCS)評価とし、4 つの評価基準(PCS)の合計 (減点があればそれを差し引き) がその種目の点数、5 種目の合計得点で競われます。

評価基準(PCS)の採点 Scale (世界標準による 0.25 刻み)

1 点=Very Poor(非常に不十分)~10 点=Outstanding(傑出)にて評価。

詳細は 4 つの PCS について WDSF による "JUDGING COMPONENTS,

PERFORMANCE ASSESSMENT STANDARDS (PAS) AND INDICATIVE QUALITIES (IQs)" に準拠する。

評価基準(PCS)	評価項目		採点
① TQ : テクニカル・クオリティ (技術的な質の高さ) (Technical Quality)	スタンダード	ラテン	0.00 ~10.00
	1. Posture 2. Dance Holds 3. Centre 4. Balance 5. Foot Skills (Foot Action and Foot Placement) 6. Body Actions 7. Drive Actions 8. Preparation to Move 9. Rise and Fall 10. Swing 11. Pivot/ Pivoting Actions/Continuous Spin 12. Skilled Figures	1. Posture 2. Dance Holds 3. Balance 4. Foot Actions 5. Latin Actions 6. General Actions 7. Preparation-Action-Recovery 8. Spins and Turns 9. Isolation/Coordination 10. Skilled Figures 11. Dynamics 12. Lines and Extended Lines	
② MM : ムーブメント・トゥ・ミュージック (音楽に対するムーブメント) (Movement to Music)	スタンダード	ラテン	0.00 ~10.00
	1. Timing/Shuffle Timing 2. Rhythm 3. Musical Structure	1. Timing/Shuffle Timing 2. Rhythm 3. Musical Structure	
③ PS : パートナリング・スキル (二人の調和性) (Partnering Skills)	スタンダード	ラテン	0.00 ~10.00
	1. Physical Communication 2. Overbalance/Counterbalance/ Holds/Drops 3. Time and Space 4. Consistency	1. Physical Communication 2. Overbalance/Counterbalance/ Holds/Drops 3. Use of Space 4. Synchronization 5. Consistency	
④ CP : コレオグラフィ・アンド・プレゼンテーション (振り付けと演出) (Choreography and Presentation)	スタンダード	ラテン	0.00 ~10.00
	1. Structures and Composition 2. Non Verbal Communications-NVC 3. Positioning -Floor Craft 4. Characterization 5. Energy Application 6. Atmosphere	1. Structure and Composition 2. Non Verbal Communications-NVC 3. Positioning -Floor Craft 4. Characterization 5. Energy Application 6. Atmosphere	

一般減点項目

- ① 転倒：-2点(最大-6点/曲)(自責による転倒)
- ② 中断：-1点/曲(5秒程度以上の中断)
- ③ 長時間の中断：その曲の総得点を失う(途中棄権など約30秒以上演技しなかった場合)
(けがなど応急手当が必要な場合は、規程によりメディカルタイムアウトが認められる場合があります。)
- ④ 服装違反：-2点/曲
- ⑤ 妨害：-2点/回(最大-12点/曲)(全員競技のみ:LOD マナー違反等による他選手への大きな妨害)
- ⑥ エラー：-0.5点/回(最大-3点/曲)(躓き、ステップミス、バランスロス、スリップ、ふらつき、リフト、コネクションロス、音楽の調子はずれ、軽度の妨害、場外での演技、出遅れ、早い演技終了、その他見苦しい失敗(ドレスが顔にかかったまま8小節程度以上踊るなど))

5 種目総合得点表

競技1 (ソロ)		競技2 (グループ)		競技3 (グループ)		競技4 (ソロ)		競技5 (グループ)		Total
PCS	一般減点	PCS	一般減点	PCS	一般減点	PCS	一般減点	PCS	一般減点	
40.00	0.00	40.00	0.00	40.00	0.00	40.00	0.00	40.00	0.00	最高点
40.00		40.00		40.00		40.00		40.00		200.00

「ビデオ判定」と WDSF の今後の発展

WDSF では、減点評価については未だ検討中ですが、日本ではリアルタイムビデオ技術を用いて減点の「ビデオ判定」を導入しています。レフリーまたは審判員の一人でも減点が疑われる演技を見つけた場合は、ビデオによる確認が行われ、レフリーにより減点が判定されます。

WDSF では日本の方式をベースとして分析・評価しながら改善を進めていく予定です。

詳しくは以下の URL または QR コードから「絶対評価審判方式について」を参照ください。

(URL : <https://www.jdsf.or.jp/document/regulations/regulations-judgement/>)

